

各地区での主なやりとり内容をざく紹介します！

平成28年度村政懇談会

6月21日から7月5日にかけて、東海村自治会連合会と村との共催による村政懇談会が、各「コミュニティセンター」で開催されました。懇談会では、村長から、今年度の村政運営の基本方針等について説明がされた後、各地区から事前に提出された質問や要望に対する回答の報告や、参加者による自由質問が行われました。

各地区で行われた懇談の内容(一部抜粋)については、本号と次号で、前編と後編に分けてご紹介します。なお、詳細は村公式ホームページに掲載の議事録をご覧ください。

■問い合わせ 自治推進課 自治推進担当(☎282局1711 内線1461)



村長による村政についての報告

「村政運営」の基本方針

▽「東海村第5次総合計画」の推進▽「東海村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進▽「持続可能なまちづくり」のための重点施策▽「連携」と「協働」▽原子力政策——についての説明がありました。詳細は、「広報とうかい」(平成28年4月10日号)をご覧ください。

「東京ガス株式会社」の「茨城幹線」計画概要

県と東京ガス株式会社では、天然ガスインフラ整備の推進・加速について、相互に協力しながら検討を進めています。このたび、高圧ガスパイプラインのループ化(環状化)による供給安定性のさらなる向上を実現するため、日立市(日立LNG基地)から神栖市までを結ぶ「茨城幹線」を建設します。

【石神地区】

期日▼6月21日
場所▼石神コミュニティセンター
参加者▼107人

事前質問▼避難道路としての東海スマートインターチェンジの本格インターチェンジ化について、現在の進捗状況を教えてほしい。

建設農政部長▼現在の東海スマートインターチェンジは、あくまでもスマートインターチェンジとしての連結許可であることや、ランプ(自動車専用道路の出入り口)がパーキングで合流していることなど、さまざまな条件から、本格インターチェンジ化については大変困難な状況にある。特に、いわき方面へ向かう下り線のアクセス道路が狭く、大型車の利用ができない。しかし、緊急時の広域避難に当たっては、大型車両の利用ができる開口部の設置が実現できるよう、関係機関と協議を進めていきたい。

外宿2区住民▼広報誌の文字が細かくて読みづらい。

村長▼さまざまな年代の方がいるので、もう少し見やすくするよう検討したい。ページ数も増えているので、情報の詰め込み過ぎにならないよう、住民にとっ

て本当に必要な情報を分かりやすく伝えられるよう工夫していきたい。

内宿2区住民▼以前、村は農業施策として公社(農業生産法人)をつくると話していたが、その後はどうなっているのか？

村長▼役場で検討したが、村が(法人の)職員を雇って、そこで農地を買い上げるか借りるかして、米や野菜を生産するコミュニティションをしていくと、どうしても赤字になってしまふ。村の施策として進めるときに、最初から赤字ありきのものに対して議会からの承認が得られるかは疑問であり、今はそこで止まっている。村だけで行おうとするところになってしまふ。ただ現在、村内にも米やほしいもの生産法人があり、今後もそのような法人が出てくるのであれば、その方々がもう少し農地を集約してできるような方向で考えたい。やる気のある人を応援したいと考えているので、もう少し検討させてほしい。

【村松地区】

期日▼6月22日
場所▼村松コミュニティセンター
参加者▼104人

宿区住民▼国道245号の拡幅工事について、現在の進捗状況を教えてください。

建設農政部長▼核燃料サイクル工学研究所前から豊岡までの国道245号(3.8キロメートル)について、茨城県常陸大宮土木事務所が拡幅事業を実施している。朝夕の渋滞が著しい①核燃料サイクル工学研究所前②原子力科学研究所前③原電前丁字路の交差点については、先行して進めており、①②については、右折レーンを設け、暫定的な改良工事が完了した。また③については、昨年度用地買収が完了し、その他の手続きを進めて、なるべく早く工事に着手したい。今年度は、豊岡地区の一部でも用地買収に取り掛かっている。宿地区については、まだ一部で完了していないため、引き続き用地買収に力を入れていく。用地買収の進捗状況を見ながら、二団の土地が確保できるところから随時工事を実施し、目標としては、平成32年度に豊岡まで開通させる予定を聞いている。

宿区住民▼村松保育所の跡地計画について説明してほしい。

建設農政部長▼阿漕ヶ浦周辺地域については、遊歩道の整備や、村松保育所・宿幼稚園の跡地利用等についてさまざまな要望が出されている。周辺地域と調和のとれた整備を推進し、地区の活性化を図るために、役場関係課で阿漕ヶ浦周辺における課題の整理や、「阿漕ヶ浦周辺」「細浦青畝」「村松周辺」「旧保育所幼稚園用地」の構想パース図についてとりまとめを行い、昨年8月に宿区の自治会役員会で説明した。今後は、「阿漕ヶ浦周辺」エリアについて、平成31年度開催の茨城国体に向けてホッケー場の再整備を進めていく予定である。また、国道245号からの進入路の整備や阿漕ヶ浦周辺の遊歩道の整備を実施していく。なお、残る3つのエリアについては構想パース図を基に、地域の活性化に寄与できるような具体的な計画を地域の方々と共に策定していきたいと考えている。

【白方地区】

期日▼6月27日
場所▼白方コミュニティセンター
参加者▼117人

事前質問▼管理されていない空き家について、村としてどのように対処するのか。

建設農政部長▼村では今年度、空家等対策計画の策定に向けて作業を進めており、どのような対策を講じれば有効なのかを検討している。司法書士や家屋調査士、建築士等の専門家と共に空家対策協議会を立ち上げ、空家の強制撤去や管理不全な空き家の改善へ向けた助言・指導方法の検討、空き家の抑制等の施策立案について取り組んでいきたい。

白方区住民▼村の広域避難計画の中では、バスを使って移動することが多くなっている。ところが、白方小学校のほか、各コミュニティセンターも、バスが1台しか通れない。2台通れるようにしなければ、避難計画が成り立たないのではないか。

村民生活部長▼広域避難計画は、各コミュニティセンターが中心となるので、全てのバスが各コミュニティセンターを回れる状況にあるかどうかの検討を始めたところ。駐車場の問題もあるので、村として総合的に計画としてまとめていきたい。

白方区住民▼災害時の井戸水マップについて、村で作成し、配布できないか。

村民生活部長▼井戸水マップについては、井戸の場所を公表しても良い方と、そうでない方がおり、村としても苦慮しているところ。皆さんに公表したいと考えているが、なかなか難しいところがある。このような意見があることを伝え、井戸を所有する皆さんからの協力を得られるよう努めていきたい。

白方中央区住民▼村には利息の少ない奨学金制度があるが、これに加えて、給付型の奨学金制度を実現してほしい。

教育次長▼給付型の奨学金制度は経済的弱者には有効だと思うが、原資をどうするかという問題がある。難しいところはあるが、さまざまな制度の状況を見ながら検討していきたい。